

懇談会開催日：令和6年8月7日(水)

地区：進修

要望・意見内容	市長回答
進修地区では民生委員・児童委員は定員割れしている状況である。自身で交代要員を探すべがなく、自身は70歳を過ぎ、もともと進修地区出身でないため、地区内の知り合いも高齢の方ばかりで交代要員を探すべがない。改選が令和7年度に控える中、どのように対処したらいいのか、市はどのような対応をしてくれるのか心配である。市役所を介した人物が民生委員・児童委員を委嘱されるのが良いと思っている。	・民生委員・児童委員の活動をサポートする民生委員協力員制度を8月から開始したところである。また、地元企業から希望する人に民生委員・児童委員を担っていただくことも、国で議論している最中である。協力員制度も含め、直すべき点は国へ伝えていく。市としては協力員制度を運用してみて、精査しながら改善していきたい。 ・地域によっては市役所を退職された後に務められる方もいるが、市としても啓発に努めていく。
サンライフ伊勢閉館に伴い、県営体育館にあるトレーニングセンターの利用者が3割増しとなり、午前中満員の状況である。伊勢市は中心部に代替施設を建設する計画はないのか。	現在、建設する計画はないが、何かできないか考えたい。
国道23号の整備について、動きがなくなってしまった。国からの説明では、令和3年の三重とこわか国体・三重とこわか大会までに整備するというお話だったが、国体が中止という状況になり、令和4年には伊勢市に要望書を提出している。地元としても宇治今在家町、宇治中之切町の避難路としても活用していくため、電信柱がなくなれば住民は安全に非難することができる。早急に整備をお願いしたい。	引き続きしっかりと市から要望していく。
進修地区の避難所は、進修小学校校舎、進修小学校屋内運動場、三重交通Gスポーツの社伊勢(三重県営総合競技場陸上競技場)の3か所となっているが、地域住民の他、労働者や観光客も含めると避難所の規模が小さい。避難場所の確保についても一緒に検討していただきたい。	状況を確認したい。
観光客の車がナビなどで誘導され、おはらい町の狭い路地へ侵入して身動きが取れない状況が見受けられる。さらに、おはらい町の中にコインパーキングができる話もあるため、さらに車が入ってきてしまう。狭い路地に車が侵入しないよう、地域関係車両証の運用方法を検討するなど、対策を考えていただきたい。	市には権限がない部分もあり、こういった形で対策ができるのか検討していきたい。
市営駐車場を運営開始される際、1年以内に地域と協議し、要望があれば解決していくという話であったが、懇談会やアンケートなどが行われなかった。市営駐車場についてはいろいろと問題があり、内宮B1～B4駐車場が満車になると市道滝倉川線が渋滞し、宇治浦田東交差点を県道から侵入できない。地域から要望する機会を検討していただきたい。	市営駐車場について、ご意見を聴取する機会がなかったのは申し訳なかった。駐車券発券機の更新もあるため、その機にご意見を聴取する場を作らせていただきたい。
五十鈴川の烏帽子岩の場所で犬の散歩で水浴びさせる人がおり、みそぎの場所と注意するが理解してもらえない。注意看板などの設置を考えてほしい。	(意見として聞き置き)
県道伊勢南勢線で人力車が退いてくれない。その影響で土が道へ落ちてきており、通行できる道が狭くなっている。	直接伝えておく。

要望・意見内容	市長回答
ソフトバンクが衛星電話のサービスを終了すると聞いたが、市から貸与されている災害用の衛星携帯電話は使えなくなるのか。	確認したい。
防災備蓄倉庫の運営について、伊勢市との協議の中で自主防災隊が主体的に対応してほしいと要望があったが、自主防災隊では運営できないと回答した。伊勢市が主体で運営するという話となった。	(意見として聞き置き)
おはらい町通りは禁煙になっているが、路地に入るとタバコの吸い殻が多いため何とかならないか。	状況を確認したい。
市道宇治浦田1丁目3号線の花壇を管理をしており、近所の方に水やりをしてもらっているが、それ以外の場所が管理できない状態にある。	持ち帰りたい。
駐車場B1、B2の出入口が国道23号線側と市道滝倉川線側の2つあり、国道23号側は駐車場の出入りで混雑し、渋滞を引き起こす原因となっている。出入口を1つにできないか。	参考にさせていただきたい。
この1、2年でおはらい町を訪れる観光客の意識に変化があり、人が住んでいる場所ではなく、テーマパーク、ショッピングセンターを訪れる際と同じ感覚を持っていると感じる。市も一緒になって、おはらい町が人の住むまちであることを示してほしい。人の住むまちでありながら、お伊勢参りの人を迎えてきた伝統も守っていききたい。	おはらい町近辺の整備により、先進的にスポットを浴びて、様々な経済活動が盛んになり今に至る部分がある。大事にまちを育ててきていただいた方と新しく経済活動をしようとする方とで、心のミスマッチがあるため、どのような形が良いのか我々も研究していく。今後とも相談いただきたい。